

# JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

## JAひがしみの様

2012年10月に導入したORPHIS X7250の感想や印刷用途について、JAひがしみの様に伺いました。

### 印刷環境がこんなに変わるなんて！

JAひがしみのでは、金融・農業・イベント関係のチラシから申込み用紙、DMやハガキなど、社内・社外問わず毎月多くの印刷物を手がけています。1色孔版印刷機しか無かった時は、冊子印刷などページ数のある物だと、必要部数を刷ってから更に丁合機をかけるという作業を繰り返しており、長時間印刷室にこもる事も多々ありました。また、1色でしか印刷する事が出来なかったため、チラシを印刷する際は色紙を使うなどして、少しでも目立つように工夫をしていました。

そんな苦勞が絶えない印刷作業が、ORPHISを導入する事で大変ラクに作業が行える様になりました。1度の印刷指示で両面印刷や丁合作業を自動で行ってくれるため、機械につきっきりになる時間がグンと減り、他の作業に時間を充てられるようになりました。更に、カラー1枚からでも低コストで印刷出来るので、拡大ポスターなどのデザイン案を縮小プリントして、会議で職員達に色合いの確認をしてもらう事が増えました。実際の刷り色見本を見せられるので、より相手に伝わりやすくなったと感じています。社外印刷では、カラーになったことで野菜など素材のみずみずしさや季節の商品の訴求効果が上がり、購買にもつながっていて嬉しい限りです。

カラー印刷が便利なのはもちろんですが、シアンやマゼンタの1色刷り機能も重宝しています。例えば、社内の出勤表などの資料を、平日用はモノクロ、休日用はマゼンタで刷ることで、視覚的な作業効率も上がっています。

その他にも、スキャナーの機能がついていることも作業効率アップの助けとなっています。以前は別のスキャナーを使用していましたが、ORPHISのスキャナーは、PDF・JPEG・TIFFの3種から用途に合わせて保存形式が選べるため、今はORPHISを使ってスキャンしています。

データ作成の仕方によって上手く印刷出来なかったり、機能が生かせなかったりと戸惑うこともありますが、これからもORPHISを駆使して、多くの方に見やすく伝わる印刷物を作成していきたいと思っています。

モノクロからカラーに変えたら、こんなにカラリと見やすくなりました！



用途によってカラーとモノクロを使い分けて、コスト削減！

### 営業担当者の声



営業担当：井戸 英明

印刷枚数が非常に多い環境で、コスト削減と作業効率改善で悩まれていました。ORPHIS導入により、プリント環境改善のお手伝いが出来て嬉しく思っております。今後も困ったことがあれば、どんなことでもお声掛けください。

ORPHIS X7250…スピード：毎分120枚、コスト：フルカラー1枚2.05円。詳しくはジムブレンまでお尋ねください。

岐阜県内のJB導入事例はHPにて公開しています。閲覧/パスワード jb5566jb1564